

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2013年3月14日・15日、4月17日、5月14日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (3月)	(4月)	(5月)
カモ	オオハクチョウ	5	0	0
	ヒドリガモ	7	0	0
	マガモ	79	0	0
	カルガモ	65	34	13
	オナガガモ	108	0	0
	コガモ	102	36	0
カイツブリ	カイツブリ	28	21	24
	カンムリカイツブリ	20	2	1
	ハジロカイツブリ	0	1	0
ウ	カワウ	62	61	99
	ウミウ	0	1	0
サギ	ゴイサギ	0	0	1
	アオサギ	8	5	9
	ダイサギ	8	2	1
	コサギ	4	3	0
クイナ	バン	1	2	0
	オオバン	59	37	22
シギ	タシギ	0	1	1
	イソシギ	1	0	0
カモメ	ユリカモメ	56	8	0
	カモメ	0	2	0
	セグロカモメ	5	18	0
	コアジサシ	0	0	4
ミサゴ	ミサゴ	1	0	0
カワセミ	カワセミ	1	0	2
モズ	モズ	0	1	0
カラス	コクマルガラス	2	0	0
	ミヤマガラス	2	0	0
	ハシボソガラス	8	5	3
	ハシブトガラス	0	0	0
ツバメ	ツバメ	10	0	2
ムクドリ	ムクドリ	0	0	1
セキレイ	ハクセキレイ	0	0	1
アトリ	カワラヒワ	0	2	0
家禽や外来種	コブハクチョウ	45	14	26
	アヒル	5	2	4
	バリケン	2	0	0
	ドバト	0	0	13
合計	34種*	694	258	227

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2013年3月8日、4月19日、5月17日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数 (3月)	(4月)	(5月)
キジ	キジ	3	4	1
カモ	カルガモ	0	7	2
ハト	キジバト	4	2	6
サギ	ゴイサギ	0	0	1
	ダイサギ	1	0	0
カッコウ	ホトトギス	0	0	1
タカ	トビ	1	0	0
	タカ科の一種	1	0	0
カワセミ	カワセミ	1	0	0
キツツキ	コゲラ	2	3	2
モズ	モズ	4	0	0
カラス	ハシボソガラス	7	7	4
	ハシブトガラス	7	6	4
	カラス科の一種	1	0	0
シジュウカラ	ヤマガラ	0	1	0
	シジュウカラ	28	8	7
ツバメ	ツバメ	0	5	9
ヒヨドリ	ヒヨドリ	16	18	34
ウグイス	ウグイス	9	5	6
エナガ	エナガ	7	4	17
メジロ	メジロ	15	2	1
ヨシキリ	オオヨシキリ	0	0	1
ムクドリ	ムクドリ	16	4	12
ヒタキ	シロハラ	2	0	0
	アカハラ	1	1	0
	ツグミ	9	1	0
	ジョウビタキ	7	0	0
	ヒタキ科の一種	3	3	0
スズメ	スズメ	16	12	22
アトリ	ハクセキレイ	5	2	3
	セグロセキレイ	4	2	0
	カワラヒワ	3	7	13
ホオジロ	ベニマシコ	1	0	0
	シメ	4	7	0
	ホオジロ	15	19	14
家禽や外来種	カシラダカ	8	1	0
	アオジ	24	16	0
合計	34種*	229	147	160

*種不明、家禽や外来種は除く

あびこ鳥だより

Summer
2013
【夏号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.34



<目次>

特集ページ・・・・・・・・・・ 2

・「展示交流スタッフ」活動中!

最新情報・・・・・・・・・・ 3

・企画展「鳥の骨展 一空飛ぶ骨組み」がスタート!

・フロアスタッフイベント「夏の遊びと研究大集合 2013」のご案内

イベント情報・・・・・・・・・・ 3

我孫子市鳥類調査結果・・ 4

表紙の鳥 カルガモ

写真提供 中野久夫さん(鳥の博物館友の会)

利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)
- 入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	免除	免除

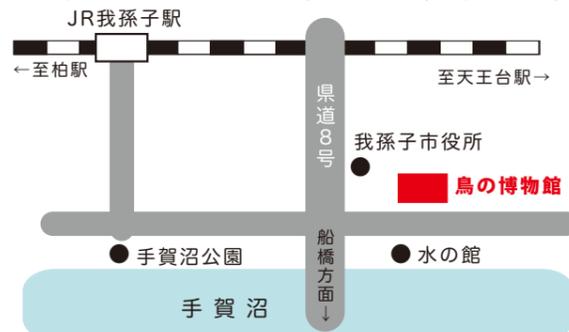
*70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)は入館料が免除されます

●お問い合わせ 我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

- 電車とバス利用
JR我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
- 自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)



「展示交流スタッフ」活動中！

鳥博のボランティア

鳥の博物館（以下鳥博）は日本で唯一、鳥に特化した博物館で、身近な鳥はもちろんのこと、世界中の鳥を展示しています。

鳥博ではボランティアが活動しています。一口にボランティアと言っても、野外活動（観察会、野外調査）・展示交流（展示室での交流・解説）・ボランティア通信の編集・イベントのサポートなど、様々な活動内容があります。

博物館で見学していて困ったことはありませんか。鳥博に来館した時であれば、鳥について調べたい方はもちろんのこと「庭に来るあの鳥は何だろう。」「あの鳴き声の正体は何の鳥だろう。」など、日頃の疑問を解消したい方もいるでしょう。でも、その疑問を自分の力で解消できない時はどうしますか。不消化なままにいませんか。そんな来館者の手助けをするために、展示室で活動しているボランティアが「展示交流スタッフ」です。

「展示交流スタッフ」ってどんな人？

展示交流スタッフ（以下交流ボランティア）は鳥の専門家ではありません。鳥に関する知識も個人差があります。では、交流ボランティアが展示室にいる意味は何なのでしょう。それは「来館者との交流」です。展示物や学芸員と来館者をつなぐ、橋渡しの役目を担っています。具体的には展示解説、体験学習室でのサポート、館内施設の利用案内などを行い、過ごし易い博物館の環境作りを目指しています。

交流ボランティアにはコミュニケーション能力の優れているメンバーが集まっています。それは、元々持っている能力でもあれば、日々の交流で磨かれたものでもあります。例えば、係員に質問しようか迷っている来館者がいたとします。交流ボランティアはその様子に気が付き、声をかける、あるいは声をかけ易い雰囲気を作っておくことだってできるでしょう。



カワセミ



ワゴントークの様子

新たな試み「ワゴントーク」

5月から新たな活動として、交流ボランティアによるスポットガイド「ワゴントーク」を実施しています。常設展示だけにとどまらず、様々な資料をワゴンで運び、来館者に解説します。

現在のテーマは「カワセミ」です。人気があり、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。カワセミは本州以南では留鳥で、手賀沼周辺でもよく見かけます。都市化の影響により、1960年頃から生息地や生息数が減少しましたが、1980年代から数が回復し、今では身近な鳥となりました。綺麗なコバルトブルーが特徴で、その姿をカメラに収めようと、待ち構えているカメラマンもいます。

「ワゴントーク」のテーマと内容は、交流ボランティアに募り、決定しました。内容は学芸員がチェックをしています。カワセミを紹介するのに相応しい展示コーナーを数カ所決め、その中から交流ボランティアが話し易い、好きな場所を選んで「ワゴントーク」を実施しています。

始めたばかりの活動なので、交流ボランティアだけでなく、担当者も手探り状態ですが、より良いものになるよう、改善を繰り返しています。「ワゴントーク」は土・日・祝日に行っていますが、実施時間・場所は未確定です。神出鬼没なワゴンに出会えたらラッキー、ぜひ足を止めて聞いてみて下さい。

※「ワゴントーク」は都合により実施しないこともあります。また、予約は受け付けていません。



展示解説の様子



体験学習の様子

第66回企画展「鳥の骨展 空飛ぶ骨組み」がスタート！

鳥は、空を飛ぶことに、最も適応した動物のひとつです。矢のようにまっすぐに飛んだかと思えば旋回し、時にはヘリコプターのようにホバリングする、そんな鳥たちの自由自在な飛行を見れば、鳥が高性能の飛行動物であることに、誰しも異論はないでしょう。

この企画展では、鳥の空飛ぶ機械としての、すぐれた性能を、羽毛に隠れた「骨組み」から探ります。主に日本産の骨格標本を展示し、軽くしなやかで丈夫な骨の材質と、その性能を効果的に引き出す骨組みについて紹介します。また、鳥たちの骨格の形態と、そのくらしの関わりについても展示します。

今回は共催である（公財）山階鳥類研究所の協力により、筋肉と腱で結びついた骨格を、X線によるCT（コンピューター断層撮影）画像で確認し、その骨組みを動かす仕組みについて展示します。ぜひ来館ください。

共催：我孫子市鳥の博物館、（公財）山階鳥類研究所 後援：文部科学省科学研究費補助金生物規範工学 協力：千葉大学大学院工学研究科劉浩研究室、鳥の博物館友の会
（企画展開催にあたっては、科学研究費補助金特定奨励費、科学研究費補助金新学術領域研究生物規範工学の一部支援を受けています）

開催期間：平成25年7/13（土）～12/1（日）



フロアスタッフイベント「夏の遊びと研究大集合2013」のご案内

鳥の博物館では、夏休み期間中に館内で鳥や身近な自然をテーマにした工作、観察イベントを開催します。夏休みの自由研究のヒントになるかも!? ぜひご参加ください。



過去のイベントの様子

日時	時間	タイトル	定員	申込み
7月21日（日）	13:30～15:00	鳥凧（だこ）を作ろう	10人	電話
7月28日（日）	10:30～12:00 13:30～15:00	バードブローチを作ろう	各40人	なし
8月4日（日）	13:30～15:00	メダカ飼育入門	20人	整理券
8月11日（日）	13:30～15:00	鳥の脳を観察しよう	20人	整理券
8月18日（日）	13:30～15:00	藍染めを体験しよう	20人	整理券
8月25日（日）	13:30～15:00	くるくるカモ飛行機	20人	整理券

参加費：無料 * 館内イベントは参加無料でも入館料が必要です（高校生以上）
申込み：鳥凧を作ろうは7月16日より電話申込み（先着順）鳥の博物館 04-7185-2212
整理券制のイベントは開始30分前から館内で券を配付

イベント情報

●自然観察会

○てがたん～手賀沼定例探鳥会～

時間：毎月第2土曜日 10:00～12:00

集合場所：博物館玄関（予約不要）

参加費：100円（高校生以上）

テーマ：7月13日（土）「斜面林～水辺の生き物比べ」

8月10日（土）「手賀沼の生き物」

9月14日（土）「バッタと秋の花」

●講演・座談会*

○テーマトーク

時間：7、8月の第2土曜日 9月の第3土曜日

13:15～14:00

場所：博物館多目的ホール

定員：先着50名（参加無料）

講師：山階鳥類研究所所属

* 館内イベントは参加無料でも入館料が必要です（高校生以上）

●夏休みイベント*

○夏休み自由研究相談

日時：夏休み期間

場所：鳥の博物館

費用：無料

申込み：7月16日より電話申込み（鳥の博物館 04-7185-2212）

小中学生を対象とした鳥に関する自由研究の相談です。電話で申込み後、相談日を決めさせていただきます。

2013年7月～9月

ミュージアムショップからのお知らせ

鳥博オリジナルポロシャツ販売中！
我孫子市の鳥オオバン刺繍入り

販売価格：1400円

サイズ：SS～LL

販売場所：鳥の博物館

ミュージアムショップ

